第１回岐阜県職業能力開発施設運営改革検討会
国際たくみアカデミー部会議事要旨

１　開催日時及び場所
令和元年７月１２日（金）１３時２５分～１５時２８分
国際たくみアカデミー短大校　会議室

２　出席者
中谷誠次座長、古田一衛委員、金森薫委員、渡辺善典委員、川島吉博委員、板頭芳樹委員、宮川勉委員、大江隆宗委員、藤井博文委員、伏見圭太委員、渡辺春文委員、林博行委員、森崎泰行委員

３　事務局
商工労働部次長、労働雇用課労働企画係長、国際たくみアカデミー校長、国際たくみアカデミー管理部長、国際たくみアカデミー指導部長兼生産技術科長、国際たくみアカデミー担当主幹兼教務・開発援助課長、国際たくみアカデミー建築科長、国際たくみアカデミー担当主幹兼訓練第一課長、国際たくみアカデミー訓練第二課長

４　会議の概要
・あいさつ
・校内見学
・座長選出
・資料説明
・意見交換

５　主な意見
〇外国人の就職状況について
・留学生は基本的に県内に就職しており、採用した企業でコミュニケーションの問題は発生していない。
・人手不足がキーワードの中、政府においても外国人受入拡大の方針が出されており、企業の皆様には受入の拡大をお願いしたい。
〇短大校に入学する生徒の割合と資格の取得について
・生産技術科では工業高校からの生徒は少ないが、建築科では５０：５０である。

・二級建築士の受験資格は、工業高校を卒業しても実務経験がないと取得できない。一方、本校では卒業により受験資格を取得できるので、普通科から入学した生徒でも工業高校から入学した生徒と同条件になる。

補足

・令和２年４月１日「改正建築士法」施行により、令和２年度の生徒から、工業高校を卒業し本校に入校すれば、在学中に二級建築士の受験資格が得られる。普通科高校の場合は現状どおり変更なし。

〇開発校（設備システム科・住宅建築科）から就職した企業に退職者が多いようだが、その理由は何か。

・その職が合わなかった子もいるし、職場の人間関係が合わなかった子もいる。ただし、人間関係が合わなくても同じ職種に転職した子もいる。人間関係づくりが難しい職場もあるが、ほとんどの子が職に魅力を感じている。

〇今年度、生産技術科に入った生徒は８人だけだが、その理由は何か。

・好景気が大きな原因である。工業高校の生徒は多くが就職し、優秀な生徒は進学している。

・カリキュラムを変えるなど当校の魅力を出して、入学者が集まるよう努力しているところである。

・今までもＰＲはしているが、まだまだ知らない方が多いので、一人でも多くの方に見ていただくよう広報に力を入れていく。